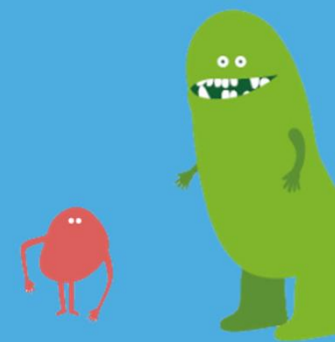


ナブテスコ株式会社 第21回定時株主総会

2024年3月26日



第21期(2023年度)の ご報告

当社グループの当事業年度の業績

航空機器

民間航空機や防衛省向け での需要回復

当社グループの当事業年度の業績

舶用機器

新造船向け、
環境規制対応での
MRO*需要が好調

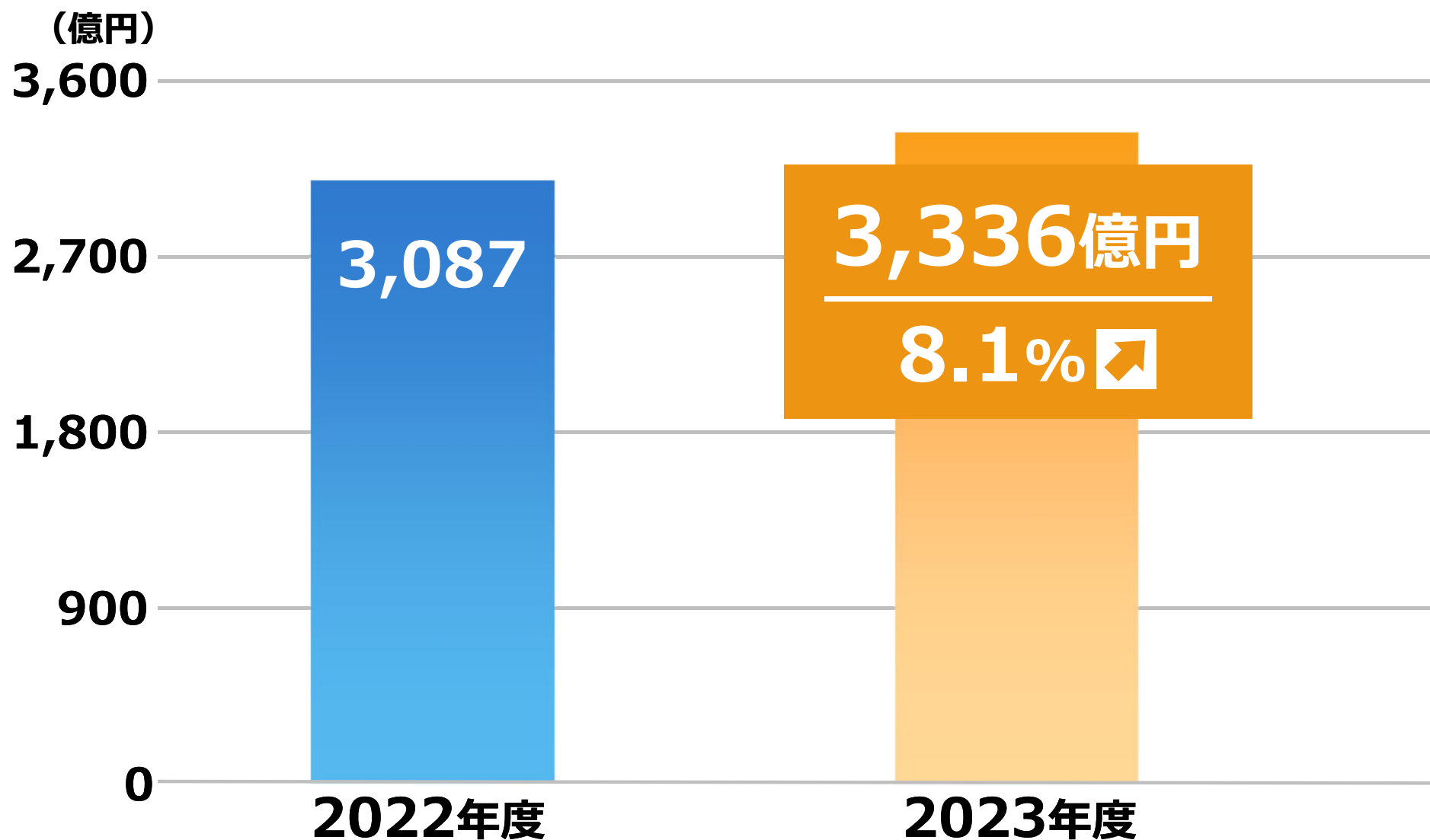
*M…Maintenance R…Repair O…Overhaul

当社グループの当事業年度の業績

自動ドア事業

国内建物用ドアの
堅調な需要
海外市場での為替効果

売上高



営業利益

(億円)

200

150

100

50

0

2022年度

2023年度

181

174億円

4.0% ▼

税引前当期利益

(億円)

300

200

100

0

2022年度

2023年度

158

256億円

62.6% 

親会社の所有者に帰属する当期利益

(億円)

150

100

50

0

2022年度

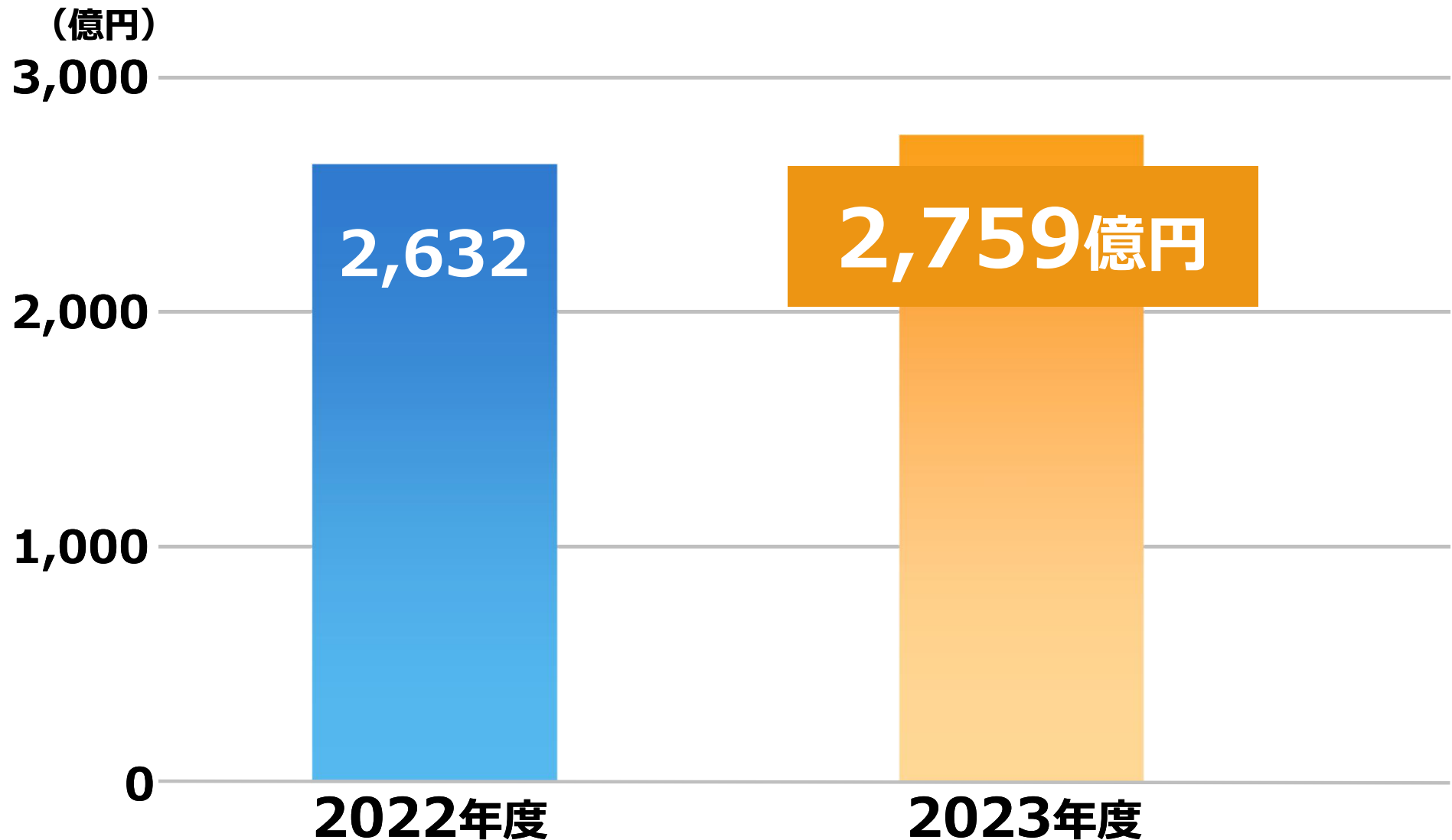
2023年度

95

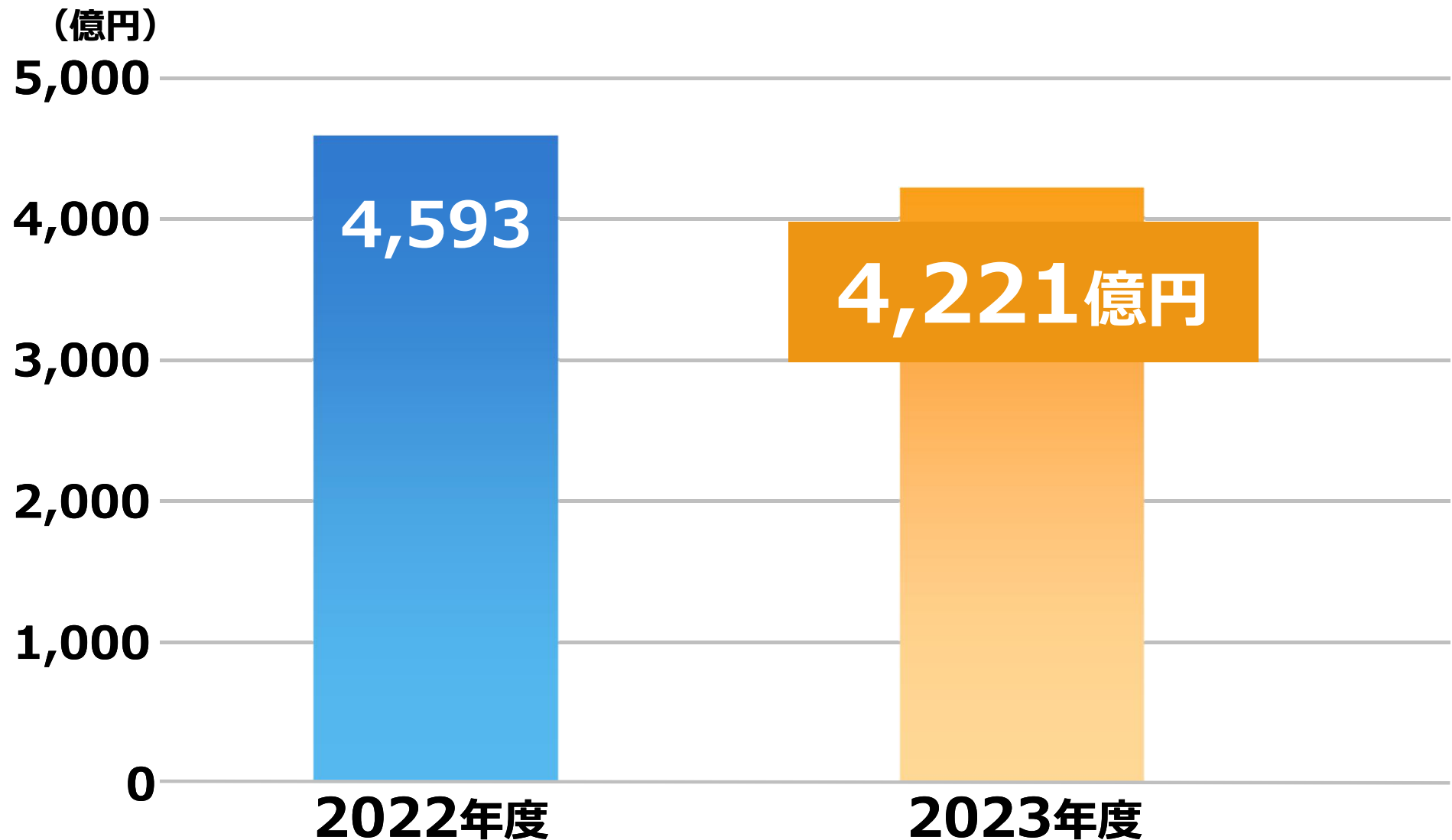
146億円

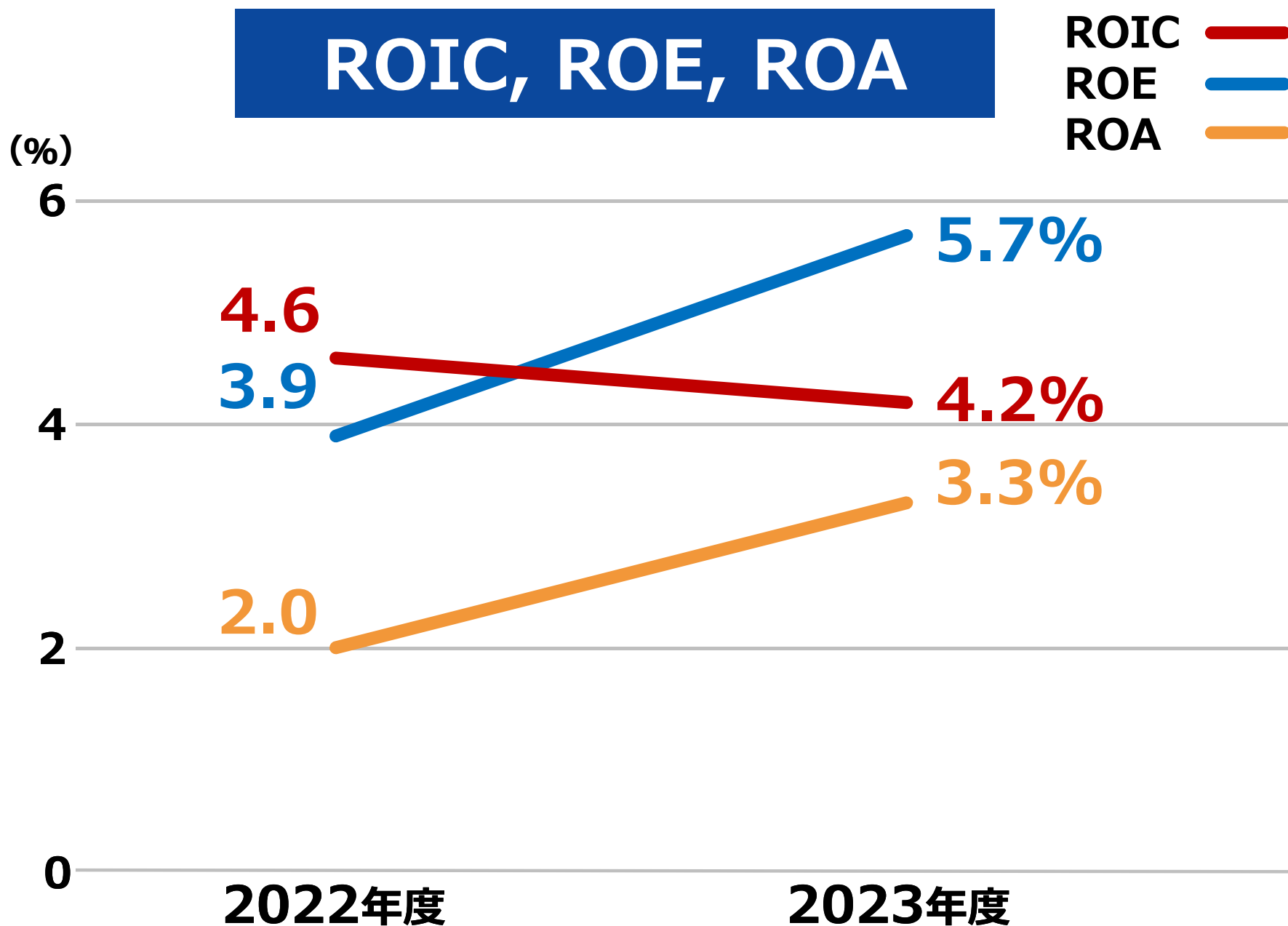
53.8% 

資本合計



資産合計





セグメント別 業績の概要



コンポーネントソリューション事業

受注高

1,127億円

23.3% ▼

売上高

1,381億円

1.8% ▼

営業利益

104億円

34.8% ▼

売上高

(億円)

1,406

1,381

2022年度

2023年度

営業利益

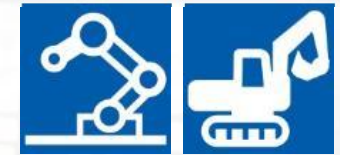
(億円)

159

104

2022年度

2023年度



コンポーネントソリューション事業

精密減速機

上期ではEV関連を中心に
産業用ロボット向け需要が好調

下期に入り、EV関連ならびに
自動化設備投資が大きく減少



コンポーネントソリューション事業

油圧機器

日本、欧米市場では需要が堅調
中国市場では需要が一段と減少

トランスポートソリューション事業



受注高

1,003億円

27.8% 

売上高

808億円

13.9% 

営業利益

78億円

16.6% 

売上高

(億円)

710

808

2022年度

2023年度

営業利益

(億円)

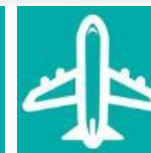
67

78

2022年度

2023年度

トランスポートソリューション事業



鉄道車両用機器

MROは堅調

国内市場で新車向け投資の抑制が継続

トランスポートソリューション事業



航空機器

民間航空機向け需要の順調な回復
防衛省向けでの需要が拡大

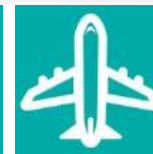
トランスポートソリューション事業



商用車用機器

国内顧客の生産が回復

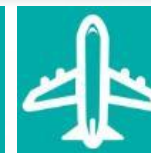
トランスポートソリューション事業



舶用機器

高い新造船向け需要、
MRO需要も好調に推移

トランスポートソリューション事業



OVALO社に係る固定資産の 減損損失を計上



アクセシビリティソリューション事業

受注高

1,013億円

16.7% 

売上高

963億円

22.5% 

営業利益

62億円

117.9% 

売上高

(億円)

786

963

2022年度

2023年度

営業利益

(億円)

28

62

2022年度

2023年度



アクセシビリティソリューション事業

自動ドア

国内の建物用ドア需要が堅調
フランスの販売会社の買収や為替の効果



アクセシビリティソリューション事業

**国内連結子会社で
土地建物交換差益を計上**

**Gilgen社に係る
のれんの減損損失を計上**

その他



受注高

185億円

5.4% 

売上高

185億円

0.4% 

営業利益

34億円

128.1% 

売上高

(億円)

186

185

2022年度

2023年度

営業利益

(億円)

15

34

2022年度

2023年度



その他

包装機

需要が回復

電子部品不足が
おおむね解消

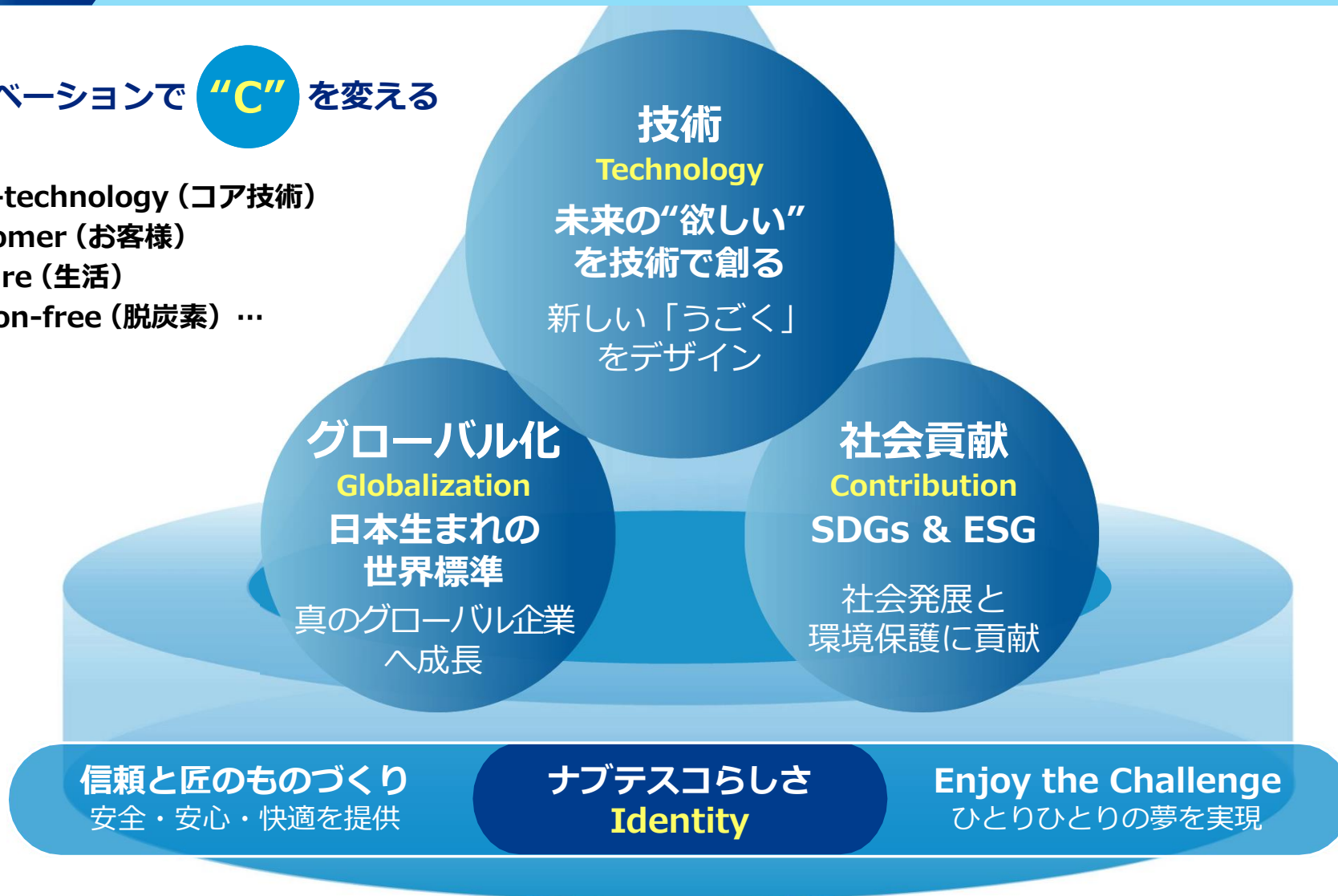
対処すべき課題

2030年
ビジョン

未来の“欲しい”に挑戦し続ける イノベーションリーダー

イノベーションで“C”を変える

Core-technology (コア技術)
Customer (お客様)
Culture (生活)
Carbon-free (脱炭素) ...



財務パフォーマンス向上 への取り組み

収益目標の遂行

経営資源の
効率的な配分

資産効率の
継続的な改善

経営基盤強化への 取り組み

財務インパクトの大きいESG項目

経営会議体の
実効性向上

気候変動
への対応

事業を通じた
社会課題の解決

強靱なサプライ
チェーンの構築

サステナビリティパワーの源泉となる ESG項目

経営の透明性
確保

環境マネジメント
の推進

安全・安心・快適
の追求

人的資本経営の
推進

地域社会との
エンゲージメント

長期ビジョン実現への 固有の取り組み

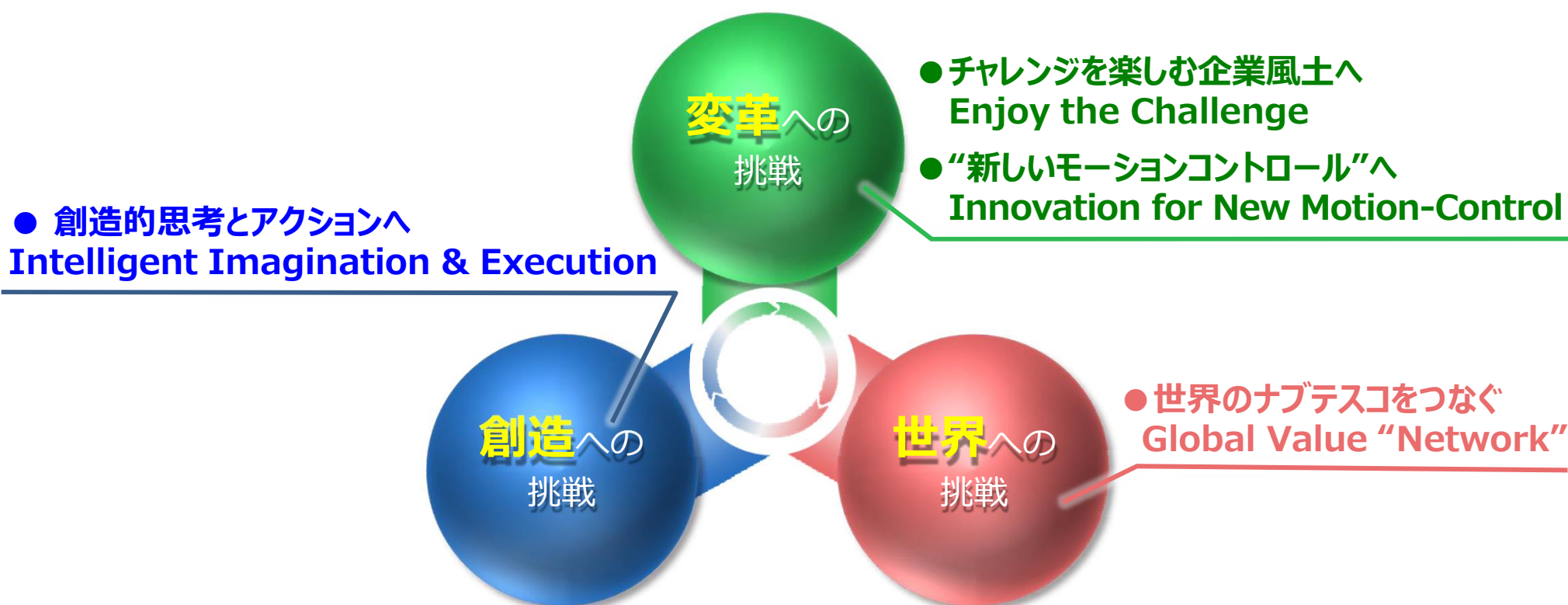
次世代技術の獲得と
新規事業の創出

ものづくりの
スマート化

グローバル拠点
の強化

挑戦の中期

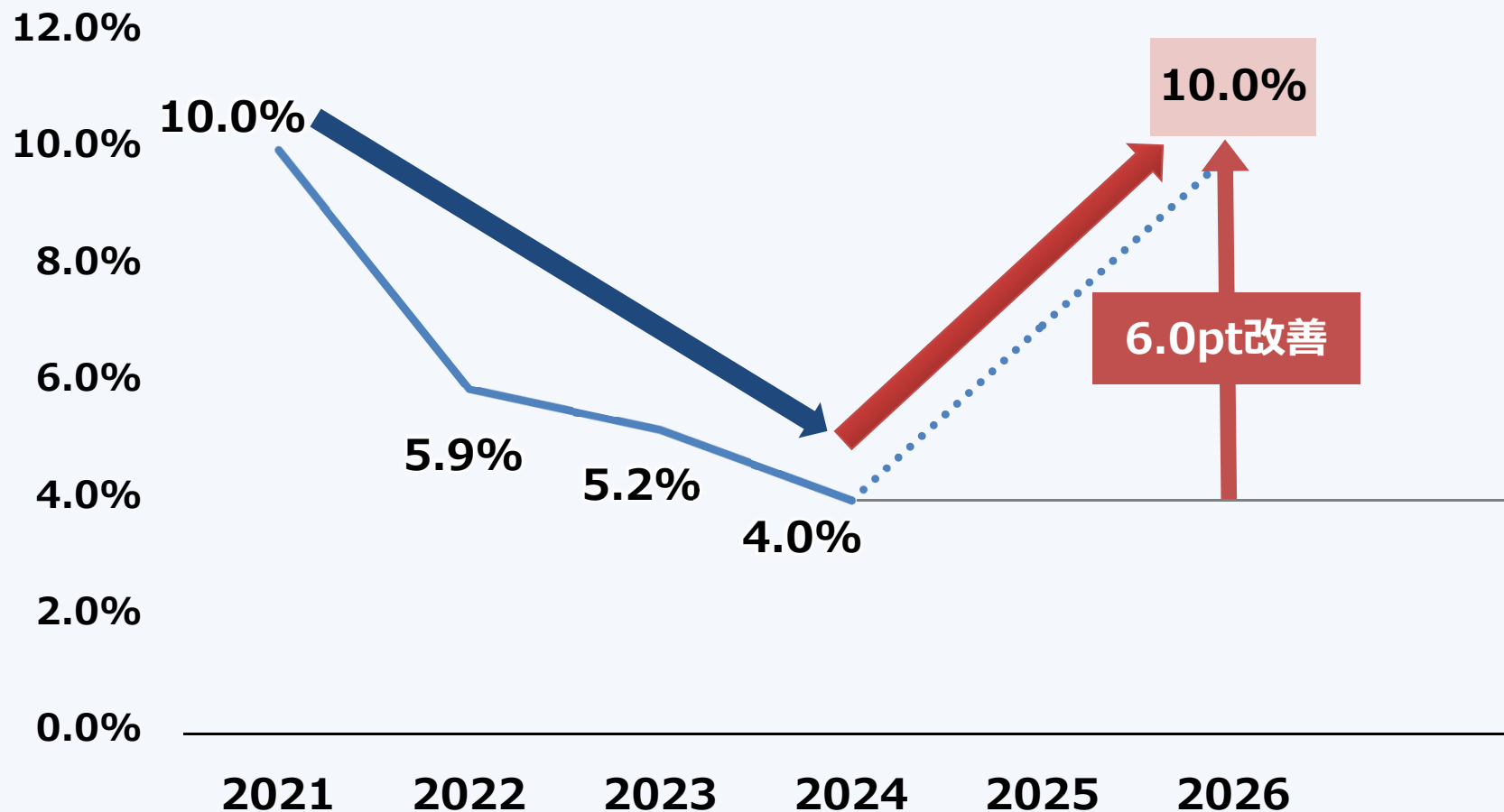
～自分が変わると会社が変わる・社会が変わる～



経営目標		2023年度実績
・ ROIC (投下資本利益率)	10%以上	・ 4.2%
・ 連結配当性向	35%以上	・ 66.0% ※ 第1号議案をご承認 いただいた場合
・ ESG課題の解決に注力 CO ₂ 排出量削減 (2015年基準／SBT1.5℃目標達成)	△25%	・ 計画どおりに 進捗

3つの対策を推進し、2026年度に営業利益率を10%に改善

＜営業利益率の推移＞



① 既存事業の利益率改善 +5.0pt

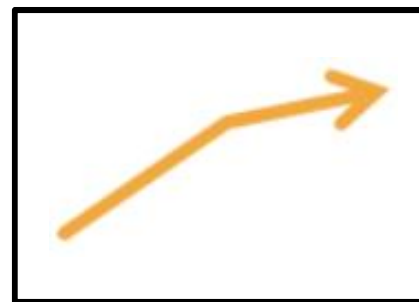
既存事業の営業利益率見通し



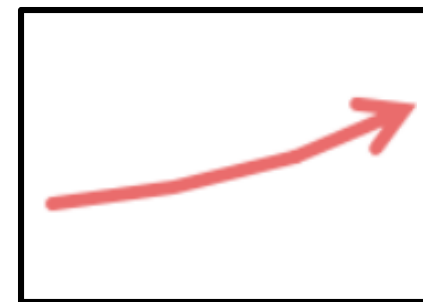
コンポーネント
ソリューション事業



トランスポート
ソリューション事業



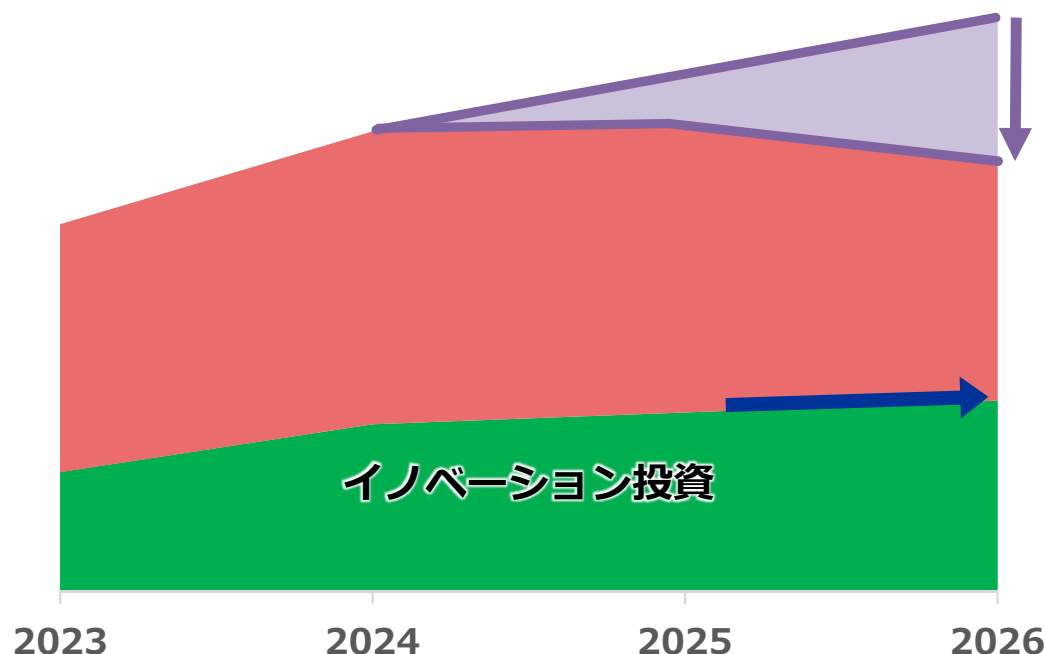
アクセシビリティ
ソリューション事業



マニファクチャリング
ソリューション事業

- 特に、コンポーネントソリューション事業の
利益率改善に注力
(2024年度計画 2.8% → 2026年度目標 11.0%)

② 固定費の適正化 +0.7pt



- イノベーション投資は継続
- DX等の業務改善や投資の厳選により、固定費を抑制

③ 新規事業の貢献 +0.3pt

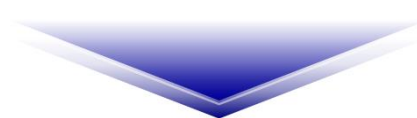


- 現中期経営計画では、新規事業の「種まき」を着実に推進中
- システム化製品など、高収益事業の展開を加速

- 2022年8月スタート
- 社員から寄せられた多数のアイデアから事業化への発展を目指す
- 一部が、事業化検討／技術検討の段階に



Leading **i**nnovation for **g**rowth **h**armonized with **t**echnology



業績に貢献する新規事業の創出・育成

● ESG株式指数への 組み入れ

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

**DJSI World
構成銘柄
(8年連続で選定)**

● サステナビリティ 評価機関からの 高い評価



**S&P Global
“Top 10%
S&P Global Sustainability
Yearbook 2024”
評価（2年連続で獲得）**



**CDP「気候変動」分野での
最高評価（8年連続で獲得）**

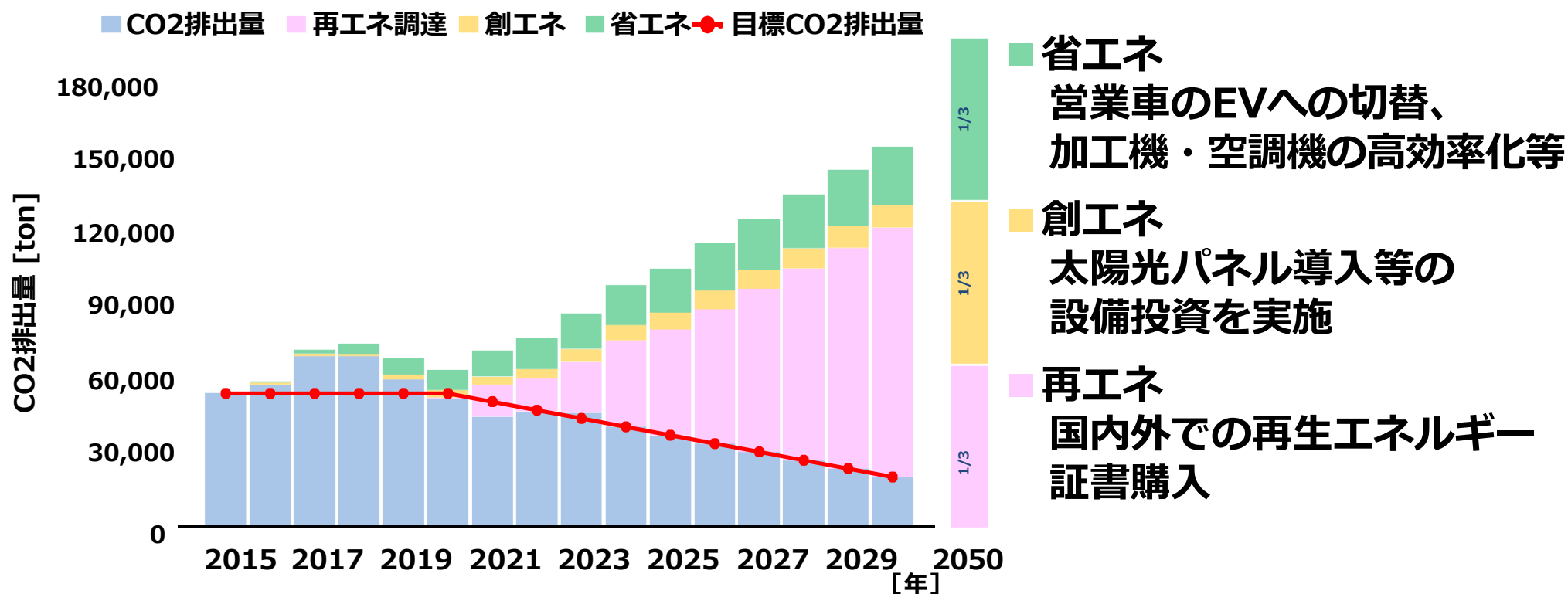
カーボンニュートラル実現への取り組みを着実に推進

Scope 1 & 2目標 (自社事業における直接・間接排出)

(2015年基準)

2024年	△25%
2030年	△63%
2050年	△100%

<Scope 1 & 2でのCO₂排出削減計画>



うごかす、とめる。

Nabtesco

